

## 令和7年第1回（3月）宮若市議会定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	備考
1. 染矢 正次	1. ふれタク（A I デマンドタクシー）の福祉車両について伺う	(1) 車椅子対応車両の利用状況について伺う	
	2. 就学前健診について伺う	(1) 5歳児健診の導入について伺う	
2. 弓削田 敬	1. 市長のハラスメント行為に対する対応について伺う	(1) 昨年の9月に否決した市長の給与削減をどう理解しているのか伺う (2) ハラスメント防止条例上程時に、市長は、幕引きではないと言った。では、この問題の最終結末はどう考えているのか伺う	
3. 清水 健太郎	1. 学校教育と不登校支援について	(1) 学校の教職員配置とその業務について問う (2) 不登校支援の内容や課題について問う	
	2. 高齢者、障がい者福祉と公共交通について	(1) 現在の高齢者、障がい者福祉サービスにおける交通問題について問う	
4. 谷口 重隆	1. ゴミゼロに向けたまちづくりについて	(1) 住民の良好な生活環境を構築するためには、環境問題は、非常に重要であると捉えている。そこで、美しいまち宮若を確立するための取組について伺う	
5. 寶部 勝	1. 地域コミュニティのまちづくりについて伺う	(1) 「地域コミュニティの課題解決のため、今後具体的な活動計画を取りまとめ、令和8年度から活動が実施できるよう努めます。」と施政方針にもあるが、どのように努めていくのか伺う (2) 「吉川コミュニティセンターの整備を進めます。」と施政方針にもあるが、地元自治会からの陳情書によると、建物が45坪、駐車台数26台とのことである。これで吉川ブロックの拠点施設と言えるのか伺う	
6. 藤春 優二	1. こども食堂支援事業について	(1) こどもの育ちを支援する重要な役割を果たしているこども食堂は、こどもの貧困対策や地域交流の拠点として重要な役割を果たしている。本市は新設するこども食堂支援事業で中長期的にどのような支援効果を目指していくのか伺う	
	2. 地域経済の活性化や消費活性化事業について	(1) 施政方針の重点的な取組事業にも掲げられている地域経済の活性化や消費活性化事業は、本市の交流人口や関係人口に対し、社会教育施設の活用を含め様々な施策に取り組む必要があると考えるが、本市の考えを伺う	

7. 山元 秀一	1. 安心安全、住みよ いまちづくりにつ いて問う	<p>(1) 近時、トクリュウ(匿名・流動型犯罪グループ)による強盗犯罪が多数発生するなど、住民、特に高齢や単身世帯の不安感は大々くなっている。本市においても主に高齢世帯に対し不審な訪問者のケースが報告されていることから、防犯に対する取組、特に夜間の対策が重要であると考えるが、自治会・隣組などの解散により地域防犯灯の維持が困難となっている。本件における対策を伺う</p> <p>(2) 空地対策・空き家対策等について、法整備など施策の評価をるところであるが、今なお不良家屋の存在が住民の不安となっている。特に東部地区の住宅密集地においては多くの存在が認められるが、危険解消に向けた取組について伺う</p> <p>(3) 公共交通の利便性の向上について、デマンド型乗り合いタクシーの認知が広まり利用が促進されているところであるが、市外へのアクセス及び来訪者の市へのアクセスは十分とは言えない。近時、鉄道のメリットが再注目されるところ、本市唯一の鉄道敷設である新幹線宮若駅の実現が、将来にわたる活性化の大きな取組と考える。本市の見解を伺う</p>	
8. 柴田 裕美子	1. 命を守るための 子どもたちへの ライフジャケット 普及について 伺う	<p>(1) 宮若市水難事故防止対策協議会の取組について伺う</p> <p>(2) ライフジャケットの必要性についての認識を伺う</p> <p>(3) 今後本市におけるライフジャケットの普及事業について伺う</p>	
9. 松岡 史倫	1. 地域おこし協力 隊について問う	<p>(1) 人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着や地域活性化を図ることは、地域力の維持・強化にも資する取組であり、有効な方策と考えるが、これまでに本市では地域おこし協力隊の採用についてどのような検討がされてきたのかを伺う</p>	